



第56期中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



株式会社 **エクセディ**

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第56期上半期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の営業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

株主のみなさまには、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

ごあいさつ	1
営業の概況	2
部門別の紹介	3
企業ニュース	5
財務データ	6
連結貸借対照表の要旨	7
連結損益計算書の要旨／連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	8
貸借対照表の要旨	9
損益計算書の要旨	10
株式データ	11
株価・出来高の推移／株主優待制度	12
工場・営業所及び関連会社所在地	13



取締役社長
中野 健

営業の概況

自動車業界においては、鋼材及び原油の価格高騰によるコスト増加、米国メーカーの不振による市場の不安定要因があったものの、日系メーカーを中心に業績は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは、国内及び米国においては自動車メーカーのアウトソーシングが進むAT（自動変速装置関連）事業に、市場拡大の進むアジア地域においてはMT（手動変速装置関連）事業に注力し、経営基盤の拡大に努めてまいりました。

この結果、当中間期においては、主として国内におけるAT事業の受注が増加したこと、アジア・米国事業も堅調に推移したことから、売上高は734億円（前年同期比10.8%増）となりました。営業利益は、鋼材価格の上昇に伴う調達コスト、受注増加への対応コスト等の増加もありますが、売上高の増加と徹底したコストダウン活動により68億円（前年同期比7.7%増）、経常利益は71億円（前年同期比10.4%増）、中間純利益は42億円（前年同期比21.6%増）となりました。

（セグメント情報）

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

[MT事業]

国内では、小型車組付用・補修用の売上が減少したものの、タイを中心にアジア地域において売上が増加し、その結果、MT事業としての売上高は244億円（前年同期比1.5%増）、営業利益は29億円（前年同期比8.9%減）となりました。

[AT事業]

国内トランスミッションメーカー、韓国メーカー向けの受注増加により、売上高は424億円（前年同期比17.4%増）、営業利益は36億円（前年同期比16.5%増）となりました。

[その他事業]

バイク用製品の受注増加、建設機械業界の需要が回復の兆しを見せ始めたことにより、売上高は93億円（前年同期比3.6%増）、営業利益は5億円（前年同期比55.7%増）となりました。

所在地別セグメントの概況は次のとおりです。

[日本]

国内販売では、MT事業の減少はあるもののAT事業の増加が多く、輸出については、韓国向け増加により、売上高は580億円（前年同期比8.9%増）、営業利益は46億円（前年同期比6.3%増）となりました。

[米国]

米国メーカーの不振等あるものの、ほぼ横バイに推移し、売上高は136億円（前年同期比3.3%増）、営業利益は10億円（前年同期比3.3%増）となりました。

[アジア・オセアニア]

アジア諸国の自動車生産が順調に推移していること、バイク用製品の販売が増加したことにより、売上高は97億円（前年同期比46.2%増）、営業利益は11億円（前年同期比32.2%増）となりました。

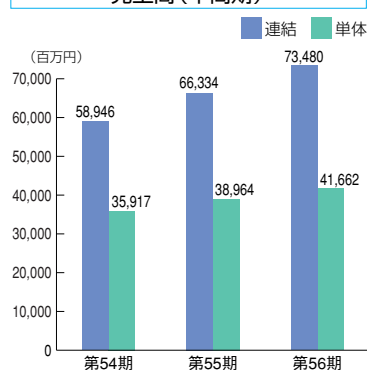
[その他]

売上高は9億円（前年同期比6.2%増）、営業利益は0億円（前年同期比23.0%減）となりました。

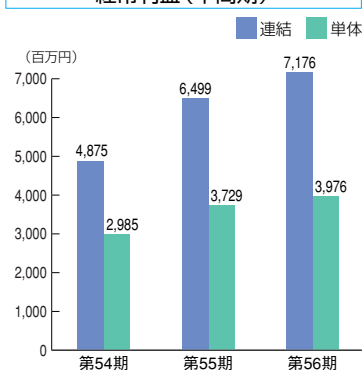
国内市場は、トルクコンバータを主にAT事業の拡大が見込まれますが、米国は市場の先行きに不透明感が増しております。アジア市場は堅調に推移するものと見込んでおります。当社グループといたしましては、燃費向上、低燃費エンジン搭載車両の振動・騒音対策等の環境対応製品の開発を進めるとともに、品質管理を徹底してまいります。収益面におきましては、鋼材価格の上昇等、コストアップ要因があり厳しい状況ではありますが、更なる合理化努力により収益を確保する所存であります。

以上により、通期の売上高は1,480億円（前期比8.6%増）、経常利益は144億円（前期比23.1%増）、当期純利益は85億円（前期比34.9%増）を予想しております。

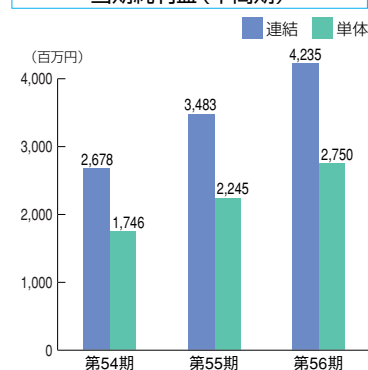
売上高（中間期）



経常利益（中間期）



当期純利益（中間期）



自動車部門

MT（手動変速装置関連事業）

マニュアルクラッチの構成部品であるクラッチディスク、クラッチカバーの開発から加工、組立までを担う事業部門です。とくに小型・軽量化の中で高い音振性能を発揮するWAD（ワイドアングルダンパー）やハイドロダンブシステム、スポーツクラッチの開発など、これまでに蓄積してきた技術の上に、さらに新たな製品分野を開いています。



WAD（ワイドアングルダンパー）



クラッチカバー（DSTタイプ）



ハイドロダンブシステム



マルチプレートクラッチ

AT（自動変速装置関連事業）

イーゼードライブ時代に向けて、特に重要なトルクコンバータを一貫生産。流体力学に基づいた高効率な小型・超偏平トルクコンバータや、CVTには不可欠のFRU（前後進切換ユニット）では世界最小・最軽量のユニットを開発するなど、つねに新たな製品・技術の開発を通じて、これからのクルマへの提案を行っています。また、ATパーツの開発・製造など、オートマチックトランスミッション全体に、事業分野を広げています。



ユニティトルクコンバータ



超偏平型トルクコンバータ



湿式クラッチアセンブリ



ロックアップダンパー

その他

産業機械用、バイク用等

建設機械から産業車両など、日本の産業を支える車両に向けた製品を供給。オーダーメイドに近い多品種少量生産は、対応性の高さが問われる分野です。主にパワーシフトトランスミッションの開発から加工、組立までを行っており、高品質な製品を市場へ送り出しています。また、自動車用クラッチで培った技術を基盤に東南アジアで市場拡大の続く二輪車用クラッチへと事業分野を拡大しております。



フォークリフト用トランスミッション



バイク用ワンウェイクラッチ

上野事業所新工場竣工

上野事業所（三重県伊賀市）でのトルクコンバータ生産500万台／年体制の確立を掲げ、2004年4月よりスタートした生産能力増強の第2期として、新工場「TCウエスト工場」が9月に竣工しました。

新工場は2階建てで、延べ床面積が3,850m²、1階にはトルクコンバータアッセンブリーライン、2階にはダンパーラインが設置されます。

また、この工場の建屋および受変電所・エアコンプレッサは将来の拡張が可能な仕様となっております。

自動車メーカーのトルクコンバータのアウトソーシング化が進展する中において、今後、当社はAT製品の一層の生産拡大を図ってまいります。



GMから初のトルコン大型受注

当社の米国現地法人であるトルクコンバータ製造会社のエクセディアメリカコーポレーション（EAC：テネシー）がこのほど、ゼネラル・モーターズ（GM）とフォード・モーターが共同開発した次世代6速自動変速機（AT）のトルクコンバータ全量を受注しました。

（両社合わせて2006年度約70万台の生産規模を予定）

従来、EACはフォードと日産自動車向けが主力であり、GMからは初の大型受注獲得となります。

一方、米国における生産の再編により、EACには、ダイキンクラッチコーポレーション（デトロイト）で生産してきたマニュアルクラッチの生産も移管され、今後EACは、トルクコンバータとマニュアルクラッチの並行生産を行ってまいります。

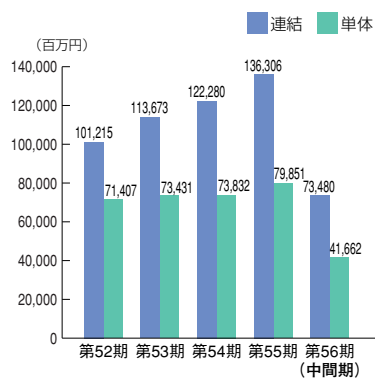
生産拡大に伴い、EACでは新たに建屋の拡張工事を行い、建屋の総面積は1994年設立当初の約1.8倍の39,400m²となりました。



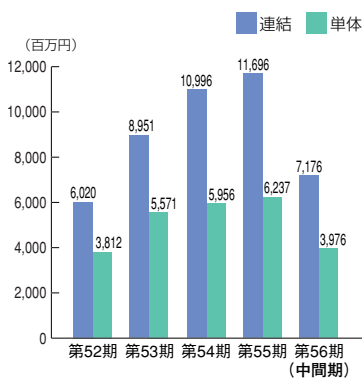
工場拡張工事が完了したエクセディア・アメリカ・コーポレーション

財務データ

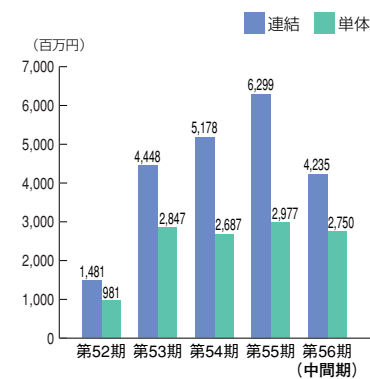
売上高



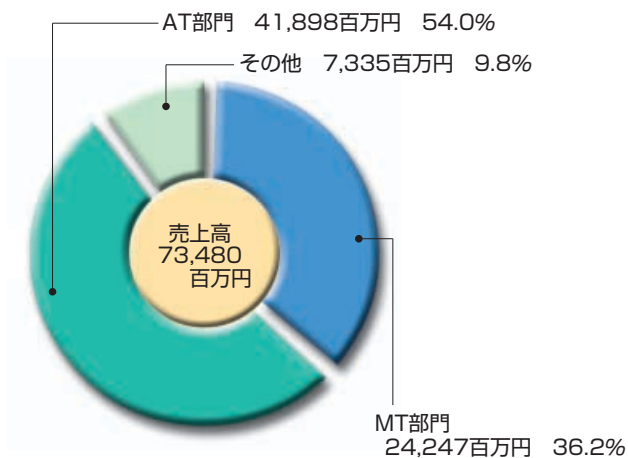
経常利益



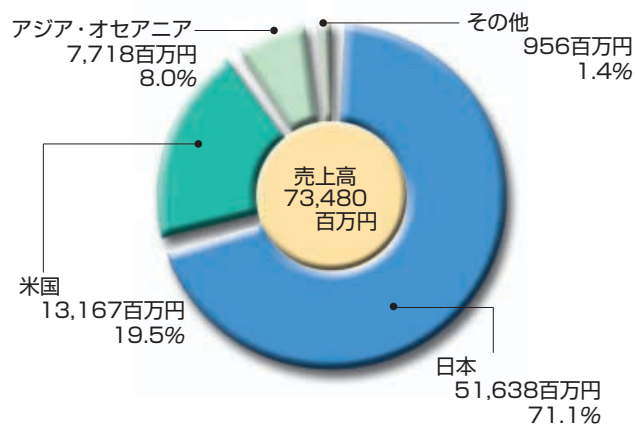
当期純利益



部門別連結売上高構成比 (中間期)



所在地別連結売上高構成比 (中間期)



※各セグメントの売上高は外部売上高を表示しております。

Consolidated Balance Sheets

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)	科 目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	65,111	63,782	流 動 負 債	29,717	27,646
現金及び預金	17,585	18,960	支払手形及び買掛金	13,258	12,765
受取手形及び売掛金	30,396	29,106	短期借入金	4,757	3,616
たな卸資産	12,890	11,855	未払法人税等	2,149	2,963
その他	5,497	5,099	その他	9,551	8,301
貸倒引当金	△ 1,258	△ 1,238	固 定 負 債	13,393	14,466
固 定 資 産	64,413	59,505	長期借入金	2,675	2,687
有形固定資産	54,679	49,718	退職給付引当金	8,252	8,115
建物及び構築物	14,837	13,864	その他	2,465	3,663
機械装置及び運搬具	22,939	20,834	負 債 合 計	43,110	42,112
その他	16,902	15,020	少 数 株 主 持 分 の 部		
無形固定資産	1,158	1,194	少数株主持分	5,680	5,143
投資その他の資産	8,575	8,593	資 本 の 部		
投資有価証券	2,000	1,617	資 本 金	8,284	8,284
その他	6,684	7,089	資本剰余金	8,767	8,767
貸倒引当金	△ 109	△ 114	利益剰余金	64,430	60,807
資 産 合 計	129,525	123,288	その他有価証券評価差額金	577	413
			為替換算調整勘定	△ 1,318	△ 2,236
			自己株式	△ 6	△ 5
			資 本 合 計	80,734	76,032
			負債少数株主持分資本合計	129,525	123,288

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Income Statements

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成17年9月期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	平成16年9月期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
売 上 高	73,480	66,334
売 上 原 価	56,813	50,306
売 上 総 利 益	16,666	16,028
販売費及び一般管理費	9,804	9,654
営 業 利 益	6,862	6,374
営 業 外 収 益	553	342
営 業 外 費 用	239	217
経 常 利 益	7,176	6,499
特 別 利 益	—	37
特 別 損 失	—	331
税金等調整前中間純利益	7,176	6,205
法人税、住民税及び事業税	2,087	2,372
法人税等調整額	417	△ 200
少数株主利益（控除）	436	549
中 間 純 利 益	4,235	3,483

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Statement of Cash Flow

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成17年9月期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	平成16年9月期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,176	6,205
減 価 償 却 費	3,948	3,654
退職給付引当金の減少（増加）額	137	△ 5
そ の 他	△ 2,656	△ 683
小 計	8,606	9,170
法人税等の支払額	△ 2,862	△ 1,561
そ の 他	△ 8	△ 23
合 計	5,735	7,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 7,375	△ 4,444
そ の 他	△ 225	△ 39
合 計	△ 7,600	△ 4,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加（減少）額	1,117	687
長期借入金の純減少額	△ 129	△ 638
配 当 金 の 支 払 額	△ 522	△ 436
そ の 他	△ 125	△ 122
合 計	339	△ 510
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	39
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,352	2,630
現金及び現金同等物期首残高	18,892	16,751
現金及び現金同等物中間期末残高	17,540	19,382

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)	科 目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	34,800	35,582	流 動 負 債	13,915	14,415
現金及び預金	8,405	8,603	支払手形及び買掛金	7,437	7,470
受取手形及び売掛金	18,574	19,281	一年以内償還の社債	100	100
たな卸資産	4,679	4,746	未払金	1,742	1,452
その他	4,365	4,156	未払法人税等	1,192	1,960
貸倒引当金	△ 1,225	△ 1,204	その他	3,442	3,432
固 定 資 産	46,775	44,782	固 定 負 債	8,907	9,513
有 形 固 定 資 産	25,794	24,023	退職給付引当金	7,265	7,060
建物及び構築物	5,800	5,862	長期未払金	1,393	2,152
機械及び装置	10,671	10,230	その他	247	300
その他	9,321	7,931	負 債 合 計	22,822	23,929
無 形 固 定 資 産	556	578	資 本 の 部		
投 資 其 他 の 資 産	20,423	20,180	資 本 金	8,284	8,284
投資有価証券	1,287	1,021	資 本 剰 余 金	8,767	8,767
関係会社株式	13,326	13,278	利 益 剰 余 金	41,155	38,993
その他	5,858	5,936	その他有価証券評価差額金	551	396
貸倒引当金	△ 49	△ 55	自 己 株 式	△ 6	△ 5
資 産 合 計	81,575	80,365	資 本 合 計	58,752	56,435
			負 債 及 び 資 本 合 計	81,575	80,365

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Income Statements

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成17年9月期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	平成16年9月期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
売 上 高	41,662	38,964
売 上 原 価	33,071	30,476
売 上 総 利 益	8,590	8,488
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,608	5,717
営 業 利 益	2,981	2,771
営 業 外 収 益	1,118	1,048
営 業 外 費 用	123	90
経 常 利 益	3,976	3,729
特 別 利 益	—	37
特 別 損 失	—	282
税 引 前 中 間 純 利 益	3,976	3,483
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,077	1,507
法 人 税 等 調 整 額	148	△ 268
中 間 純 利 益	2,750	2,245
前 期 繰 越 利 益	896	768
中 間 未 処 分 利 益	3,647	3,013

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式データ

(平成17年9月30日現在)

株式の状況

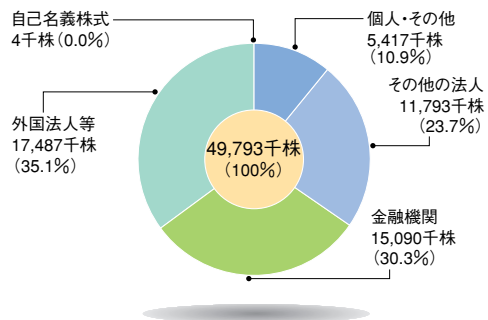
会社が発行する株式の総数	168,000千株
発行済株式総数	49,793千株
株主数	4,231名

大株主 (上位10位)

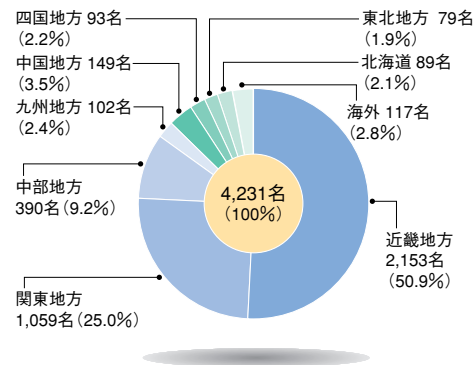
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
アイシン精機株式会社	7,230千株	14.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,468	10.99
アイシンホールディングスオブアメリカ	4,500	9.04
アイシンヨーロッパSA	4,500	9.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,496	7.03
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,223	4.47
日野自動車株式会社	1,271	2.56
ダイハツ工業株式会社	1,241	2.50
ジェービーエムシーオムニバスノースペンションリーチージャステック	1,191	2.40
芭蕉会	841	1.69

(注) 記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

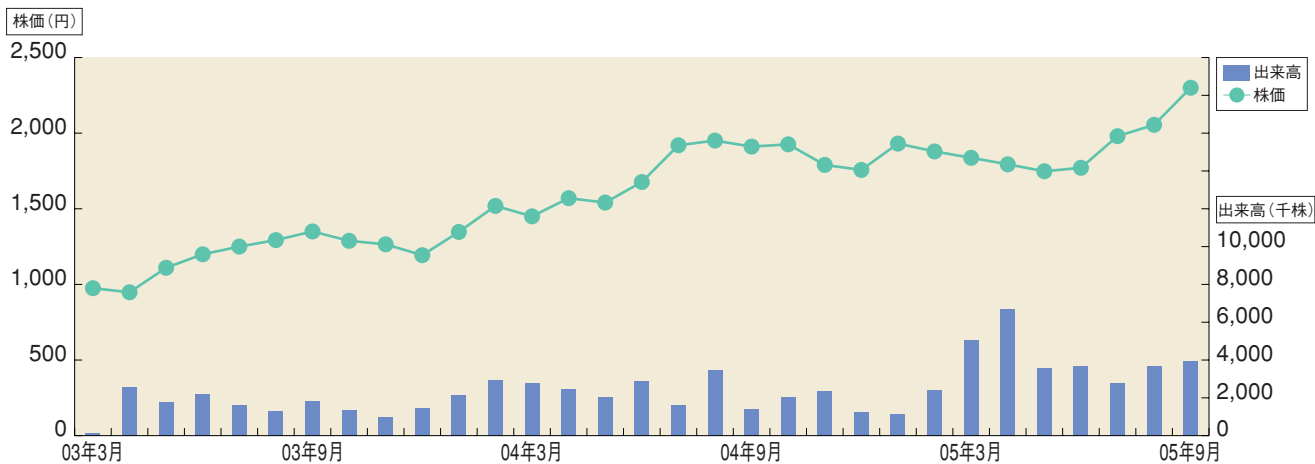
所有者別株式数分布



地域別株主数分布



● 株価・出来高の推移



● 株主優待制度

株主優待制度についてご説明いたします。

対象株主 毎年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録されている100株以上ご所有の株主様

優待制度の概況 株式会社エクセディ チョイスグルメール

カタログよりお選び頂いた旬の味覚や各地の特産品をゆうバックにて無料でお届けいたします。

贈呈時期 毎年6月末から7月初めを予定しております。



工場・営業所及び関連会社所在地

本 社 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号
東京営業所 東京都千代田区岩本町2丁目17番2号 DBS東京
静岡営業所 静岡県富士市荒田島町6番地20号 TBMビル2F
中部営業所 愛知県安城市二本木町二ツ池28-1 東祥ビル2F
広島営業所 広島県安芸郡海田町栄町6番地6号 DBS広島
上野事業所 三重県伊賀市小田町字新田2418番地
川越工場 埼玉県川越市芳野台1丁目103番25号

株式会社ダイナックス

北海道千歳市上長郡1053番地2号

株式会社ディーケープロナック

広島県東広島市田口研究団地6番11号



ディーケープロナック



ダイナックス

株式会社ダイナックス ●

川越工場 ●

● 東京営業所

● 静岡営業所

● 中部営業所

● 上野事業所

● 株式会社ディーケープロナック

● 広島営業所

● 本社及び本社工場



川越工場



本社工場



上野事業所



エクセディ クラッチ ヨーロッパ



愛思帝（重慶）駆動系統



ダイナックスアメリカ



エクセディタイランド



エクセディアメリカ

- ①エクセディホールディングスオプアメリカ EXEDY Holdings of America Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.
- ②ダイキンクラッチコーポレーション Daikin Clutch Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.
- ③エクセディアメリカ EXEDY America Corporation
2121 Holston Bend Drive Mascot, TN 37806 U.S.A.
- ④ダイナックスアメリカ DYNAX America Corporation
568 East Park Drive Roanoke VA 24019 U.S.A.
- ⑤ダイナックスノースアメリカセールスコーポレーション Dynax North America Sales Corporation
150 West Jeferson, Suite 2500. Detroit, MI 48226
- ⑥エクセディオーストラリア EXEDY Australia PTY, Limited
21 Fiveways Boulevard Keysborough, Victoria 3173, AUSTRALIA
- ⑦愛思帝（重慶）駆動系統 EXEDY Chongqing Co., Ltd.
中国重慶市南坪経済技術開発区桃源路158号
- ⑧上海達耐時汽車配件 Shanghai DYNAX Corporation
中国上海市松江區東興路1号
- ⑨達耐時工業（上海）DYNAX Industry (SHANGHAI) CORPORATION
中国上海市松江區輸出加工区松開III-24号
- ⑩愛思帝（上海）複合摩擦材料 EXEDY (SHANGHAI) FRICTION MATERIAL Co. Ltd.
中国上海市奉賢区工業総合開発区M6ブロック
- ⑪エクセディタイランド EXEDY (THAILAND) Co., Ltd.
700/316 Moo 6, Bangna-Trad Road, Tumbon Don Hua Roh, Amphur Muang Chonburi 20000, THAILAND
- ⑫エクセディフリクションマテリアル EXEDY Friction Material Co., Ltd.
700/359 Moo 6, Bangna-Trad Road, Tumbon Don Hua Roh, Amphur Muang Chonburi 20000, THAILAND
- ⑬エクセディマレーシア EXEDY (MALAYSIA) SDN. BHD.
PT16748, Jalan Permata 1/5, Arab-Malaysian, Industrial Park Nilai, 71800, Negeri Sembilan, MALAYSIA
- ⑭ダイキンクラッチインドネシア P. T. Daikin Clutch Indonesia
Jl. Pegangsaan Dua Km2 No.64 Kelapa Gading Jakarta Utara 14250 INDONESIA
- ⑮シーケーダイキン Ceekay Daikin Limited
N.K.M International House, 4th Floor, 178 Babubhai M.Chinai Marg, Mumbai 400 020 INDIA
- ⑯エクセディクラッチヨーロッパ EXEDY Clutch Europe Ltd.
Unit 2, Rokeby Court, Manor Park, Runcorn, Cheshire WA7 1RW, U.K.
- ⑰ユーロエクセディクラッチ Euro EXEDY Clutch Limited
2800 Tatabanya, Buzavirag ut.4, HUNGARY
- ⑱エクセディミドルイースト EXEDY MIDDLE EAST FZCO
P.O. BOX 18199, Jebel Ali Free Zone, Jebel Ali Dubai, U.A.E.
- ⑲エクセディダイナックスアメリカ EXEDY -DYNAX America Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.

株主メモ

決算期日	毎年 3月31日 年1回決算
利益配当	毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対して支払う
中間配当	毎年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対して支払う
定時株主総会 名義書換代理人	毎年 6月 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話（フリーダイヤル）0120-094-777
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ 信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っ ております。 電話（フリーダイヤル）0120-244-479（証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufj.jp/daikou/
一単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	大阪市において発行する日本経済新聞に 掲載する。

貸借対照表及び損益計算書は公告に代えて下記のウェブサイトに
掲示しております。

<http://www.exedy.co.jp/jweb/news/2003/kessankoukoku.html>

株式会社 **エクセディ**